

# 鵜川・ピリカ・プロジェクト

～美しい川をめざして～

「ピリカ」とは、アイヌ語で「美しい、良い」などを意味する言葉です

## 第6回 「鵜川・ピリカ・プロジェクト」が開催されました。

～美しい川をめざして～

平成20年2月23日(土) 9:30より、第6回「鵜川・ピリカ・プロジェクト」として「鵜川の自然環境と川づくりなど」がテーマの講演会を開催し、講演会の後に意見交換を行いました。9名の委員が出席しました。

### 講演内容(抜粋)

#### 1. 妹尾講師の講演（鵜川の自然環境と川づくりなど）

- \* 11月に全川を下った。第一印象は比較的すばらしい川。大きな河原が形成されており、砂礫分の流入もある。
- \* 自然の水がつくった川は、厳しいところも穏やかなところもある。魚も活動したり、休息したり、色々な条件が整った川が必要だ。
- \* これからの川づくりは、水に自由な空間を与え、最低限の手を加える。そのために水、植物、動物などの関係を理解する必要がある。
- \* 鵜川の場合、伏流水が河原を通して出るところがあり、サケの産卵場にいい。瀬、淵もあり、オジロワシ、オオワシ、カモ類もいる。シシャモの産卵環境もある。
- \* このような条件が鵜川にあるということで、川づくりの方法によっては、すばらしい鵜川が復活することがわかった。



妹尾講師の講演の様子



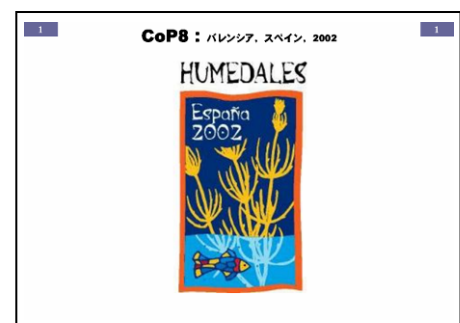
妹尾講師の講演説明資料より

#### 2. 辻井講師の講演

- \* ラムサール条約はもともと渡り鳥条約。10年近く前から内容が渡り鳥から水そのもの、人間の健康などへ変わってきた。
- \* この先、湿地は水と人と文化が大事と考える。
- \* 野付半島の尾岱沼では、打瀬舟でホッカイシマエビを捕っている。漁法、打瀬舟を含めてラムサール登録湿地であり、北海道遺産としてもブランド化している。
- \* 文化は経済を支える非常に重要なパートになるのではないが。
- \* 鵜川には、アイヌの神様がヤナギの葉っぱを川に流したらシシャモになったという伝説がある。これも一つの文化。
- \* 占冠を含めた上流、中流、下流全部で、食などを含めた川の文化というものを考えていっていいのではないだろうか。



辻井講師の講演の様子



辻井講師の講演説明資料より

## 意見交換(抜粋)

- \* 上流部と下流部の交流や、お互いを知る仕組みを考えたい。
- \* 1本の川を通じて、下流のむかわと上流の占冠がつながること、文化の結びつきが大きな視点になる。
- \* 川は一つのつながり。大きなスケールでの景観計画を考えることで、町境、村境を越えてつながる。
- \* 鷗川の大切と感じる場所を、写真や行き来することで共有したい。
- \* 川に面した一定の範囲では木を切らないといった宣言もしてほしい。
- \* 今まで川を魚と周りの植物で考えていたが、今日の講演で発想が広がった。
- \* 環境も大事だが、災害の多発を見据えて環境・文化づくりを進めていく必要がある。
- \* 上流、中流、下流に、美しい場所、ピリカフィールドとでもいう場所を形成し、親しみつつ環境を守るきっかけができればよい。
- \* 河川敷の多目的利用なども住民の大きな要望。
- \* 鷗川流域での観光や危険性や活用できる面などの要素を1回地図に落としてみたらどうか。鷗川が1本につながっているという認識もできるし、地域住民が知らないことがまず理解できる。
- \* 鷗川の田んぼはウトナイ湖のマガンの採餌場であり、復活させたい。
- \* 支配ではなくて、自然の中でうまくつき合う、そういう感覚が大事。
- \* 生田小学校の子供たちはものすごく川で遊んでいる。遊んで本当に感じているからこそ、森林と水の関係などを実感できるのではないかな。
- \* 課題があると、子供たちはどんどん見つけて、それを感じてくれる。こういう体験で、小さいときに本物に触れるということは宝物だ。
- \* 川を下るには、鷗川は最高の川。子供たちを連れて、安心して川を流れながら色々なものを見る。そういう経験をさせて、子供たちが大人になるころにすばらしい川ができ上がるような工夫を考えたい。
- \* ピリカという言葉を選ぶときに、あるべき鷗川の姿という話をみんなでした。子供たちにもそういうものがあればよいと思っている。
- \* メニューを考えていくのもいいが、できることを一つでもやりたい。
- \* 生田小学校の周辺など、今では希少な生物もいることに改めて驚いた。
- \* 河川の改修計画によって、土砂崩れだとか環境の変化に対するバリアをある程度つくることも可能という話があった。



意見交換の様子

## 講師意見(抜粋)

- \* 鷗川に貴重な動植物があることを踏まえて再度見たい。
- \* 田んぼの話も出た。湿地、ビオトープとして価値がある。水田の利用はぜひやってほしい。
- \* 川の営みを見ながら河畔や川のあり方を学ぶことが重要。鷗川なら何かできそうだと感じる。
- \* 車で移動して現場の状況を共有すれば、木を切る、切らないなど実際的な議論ができるのではないかな。
- \* 住民以外も参加できれば、興味を持つ人も出てくると思う。